

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	危機管理論	
科目基礎情報							
科目番号	1203		科目区分		専門 / コース選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	商船学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	片岡 高志						
到達目標							
1. 危機管理の基礎知識を習得すると共に、危機管理の手法について理解する。 2. 危機管理に関する各種実践事例を学ぶ。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	危機管理手法を説明できる。		危機管理の基礎知識を説明できる。		危機管理の基礎知識を説明できない。		
評価項目2	数種類の危機管理事例を詳しく説明できる。		危機管理事例を説明できる。		危機管理事例を説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	危機管理の基本的な知識を得て、危機管理の諸問題を理解するし、危機管理の事例を分析する手法について学ぶ。						
授業の進め方・方法	1. 授業は講義および演習形式で行うので、講義中は集中して聴講し、演習時は課題を出して解答の提出を求めます。 2. 適宜レポートを課すので、期限に遅れず提出すること。						
注意点							
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	安全管理と危機管理			安全管理と危機管理の相違点を説明できる。	
		2週	Risk (リスク) とCrisis (危機)			Risk (リスク) とCrisis (危機) の違いを説明できる。	
		3週	リスクアナリシス (1)			リスクの同定、評価、リスクの計算手法について学ぶ。	
		4週	リスクアナリシス (2)			リスクの同定、評価、リスクの計算手法について学ぶ。	
		5週	災害事例と危機管理 (1)			自然災害と危機管理について知る。	
		6週	災害事例と危機管理 (2)			環境災害と危機管理について知る。	
		7週	災害事例と危機管理 (3)			海上災害と危機管理について知る。	
	8週	中間試験			達成度の確認		
	4thQ	9週	Bridge Resource Management (1)			BRMの概念を説明できる。	
		10週	Bridge Resource Management (2)			操船シミュレータを用いてBRMを行う。	
		11週	Bridge Resource Management (3)			操船シミュレータを用いてBRMを行う。	
		12週	危機管理の実践 (1)			艇庫地区の問題点を整理する。	
		13週	危機管理の実践 (2)			校舎地区の問題点を整理する。	
		14週	危機管理の実践 (3)			艇庫地区および校舎地区の改善策を提案する。	
		15週	試験の解答解説と授業の総括				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	40	0	0	0	10	100
基礎的能力	10	0	0	0	0	0	10
専門的能力	20	20	0	0	0	0	40
分野横断的能力	20	20	0	0	0	10	50